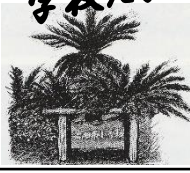


学校だより



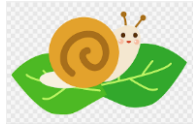
「チャレンジ! なかよし! 進んで学ぶ 東の子」

リテツのホ

6月号

令和3年5月31日

横浜市立高田東小学校



自分のよさを見つけよう

副校長 小原 由美

休み時間になると、青々とした芝生の校庭を元気に走り回る子どもたちの姿が見られます。新型コロナウイルス感染症の見通しがもてない状況の中ですが、こんなときだからこそ子どもたちのキラキラ輝く笑顔が愛おしく、さらに大切にしていきたいと思います。

校内を回っていると、各学年の工夫された自己紹介カードが掲示されていました。その中でも「好きなこと」や「自分のよいところ」の欄には、子どもたち一人ひとりの個性があふれています。

「好きな〇〇」には・食べ物 ・スポーツ ・ゲーム などが多くありました。「人と話すこと」「きょうだいと遊ぶこと」などを見つけるとほっこり温かい気持ちにもなりました。『好きこそものの上手なれ』と古くから言われているように、好きなことがたくさんあるということは、それだけ自らを成長させてくれることでしょう。

また、「自分のよいところ」も様々で、一人ひとりの思いが伝わってきました。

- ・約束を守る ・おもしろい ・友達のよいところを見つける
- ・走るのが大好き ・いやなことやうれしかったことを話せる・・・

本当に自分をよく見ているなあと感心してしまいます。そして高学年の中で、

- ・よいところを見つけてくれると嬉しいです。

という言葉を見つけました。とても素直な思いだと感じました。自分のよさに気付いていない子どももたくさんいます。友達や周りの大人が良いところを伝え、後押ししてあげるとはとても有効であると思います。「自分のよいところ」を見つけ、それを知っていることは豊かな生活を送っていくうえでとても大切です。



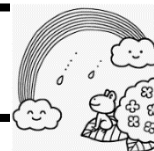
最近いろいろな場面で「強み」という言葉をよく聞きます。アメリカの心理学者マーティン・セリグマン教授は、「幸せな人は自分の強みを知っていて、それを使っている。」といます。そして「人は、誰もが強みをもって生まれてきています。強みのない人はいません。」と続きます。

保護者の皆さんと話をしていると、お子さんの「できない」ことに注目して心配されていると感じることがあります。そのような時には、それを克服することも大切ですが、そちらにばかり気をとられず、「よいところ」をたくさん認めて応援してあげようとお声掛けしています。長い目で見ると、得意なことを楽しんでやっているうちに苦手なこともいつの間にかできてしまうこともあるからです。

私自身、子どものよさ（強み）をしっかりと認め、温かく励ます教師でありたいです。今後も全ての子どもが「自分のよさ」を見つけ、それを使って他の人と尊重し合える人間関係づくりを大切にしたい教育活動を進めてまいります。引き続き、ご支援とご協力をお願いいたします。

6月の生活目標 落ち着いて行動しよう 雨の日の過ごし方を工夫しよう

6月の保健目標 歯を大切にしよう



新体力テスト

5月中旬から、新体力テストを行っています。1, 6年、2, 4年、3, 5年のペアで協力しながら取り組んでいます。特に20mシャトルランは、持久力をみるテストで、息が苦しくなる場合はマスクを外してもよいことになっています。そのため、いつも以上に感染対策を徹底して行いました。名前は「テスト」ですが、シャトルランを終えた子どもの表情はどの子どもともすがすがしく満面の笑顔が多く見られました。「身体を動かすことは気持ちいい」という感覚を大切にしてほしいと思います。



20mシャトルランの様子

文部科学省が行っている「体力・運動能力調査」によると、現在の子どもの体力・運動能力の結果をその親の世代である30年前と比較すると、ほとんどのテスト項目において、子どもの世代が親の世代を下まわっています。一方、身長、体重など子どもの体格についても同様に比較すると、逆に親の世代を上回っています。体格が向上しているにもかかわらず、体力・運動能力が低下していることは、身体能力の低下が深刻な状況であることを示しているといえます。また、最近の子どもは、靴のひもを結べない、スキップができないなど、自分の身体を操作する能力の低下も指摘されています。

子どもたちの生活をあらためて考えてみると、保護者の方が子どもだったころにくらべて、交通手段や家電製品の発達などによって、体を動かすことが少なくなってきました。この機会をきっかけに今一度ご家庭のみなさんで運動習慣や健康づくりについて話し合ってみてはいかがでしょうか。

子どもたちの生活をあらためて考えてみると、保護者の方が子どもだったころにくらべて、交通手段や家電製品の発達などによって、体を動かすことが少なくなってきました。

この機会をきっかけに今一度ご家庭のみなさんで運動習慣や健康づくりについて話し合ってみてはいかがでしょうか。

ロイロノートについて

1人1台iPadを使えるように整備されました。各学年、発達段階に合わせて活用していきます。

初めて全員でiPadを触る際には、使用時のルールについてや情報モラルについて子どもたちと確認しました。文字を打つ際にローマ字を思い出したり、友達に伝わりやすい書き方や見せ方を考えたりと、子どもたちも楽しそうに活動しています。



地域学校協働活動 本部会議

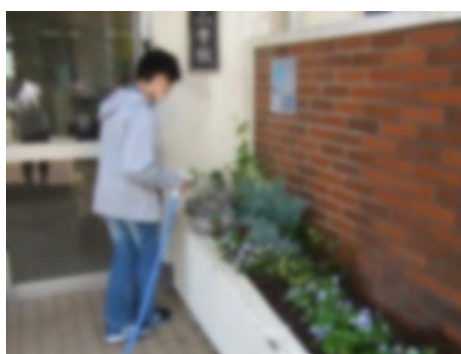
5月20日(木)に今年度第1回目の「高田東小学校地域学校協働活動 本部会議」が行われました。学校・地域コーディネーター中心に校長・副校長・今年新たに加わっていただいた3人の役員と、昨年度の活動報告や今年度の活動計画について話し合いました。今後も感染症対策を行いながら、地域学校協働本部が地域や保護者と学校のよき架け橋となれるような活動を目指してお手伝いいただけるということです。お力を貸していただきながら、充実した教育活動を実施できるよう努めてまいります。



環境委員会の活動

今年度の環境委員会は、金魚の飼育と花の水やりを常時活動として、日々取り組んでいます。

「いろいろな花を植えて、明るい学校にしたい！」という子ども達の意見をもとに、花を植える活動を行いました。「この場所に植えると、みんなが見てくれるね。」「このお花がいいな。」と、植えた花の種類や場所は子ども達で決めました。学校を訪れた際には是非、環境委員会の子ども達が植えた花をご覧になってください。



けんこう会議

けんこう会議とは、生涯を通じて心身共に健康な児童の育成を目指し、話し合い、活動を推し進める組織です。感染症対策の為なかなか実際集まる機会を持っていないのですが、テレビ放送などを通して積極的に発信していきたいと思えます。

今年度のテーマは「運動・食事・睡眠のバランスを整えて、病気に負けない体をつくらう」です。

「昨日つい夜ふかししてしまったから、眠くてボーっとするなあ。」…こんな経験が誰しもあると思えます。コンディション良く過ごすには、良い生活リズムで過ごす事が何より大切と考えます。

特にコロナ禍において、家で過ごす時間が増えた事での体力低下、タブレット端末などを長時間見る事での視力低下、ゲームやネットへの依存等が問題になっています。

「元気アップ週間」では、睡眠時間・運動・ゲームやネットの時間など、自分で決めためあてに取り組みます。良い生活リズムだと体の調子も良い事を、実感して欲しいと思えます。普段から良い生活習慣で過ごしている児童も多くいますが、これからも自分で続けていけるよう価値付けていきたいと思えます。ご家庭で取り組む部分も多くなりますが、ぜひご協力をお願いします。

